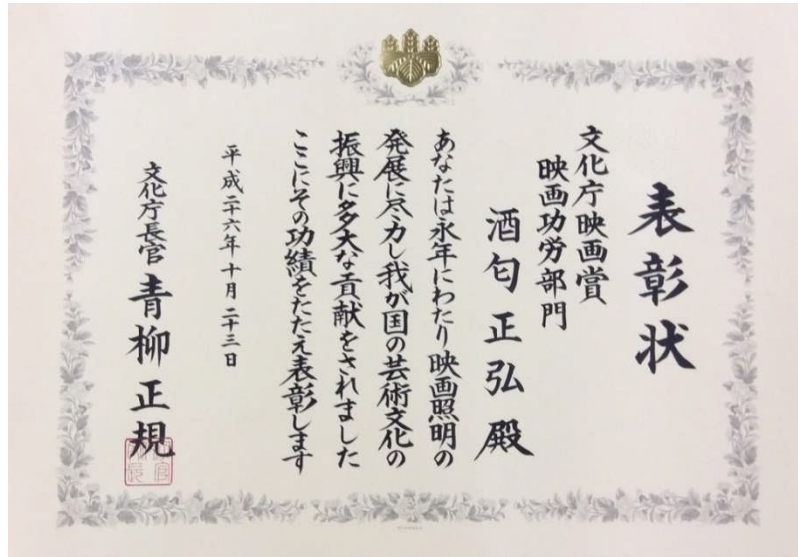


平成 26 年度

文化庁映画賞 映画功劳賞 受賞



酒匂 正弘（さこう まさひろ）

フィルムコミッションなど存在しない昭和 30 年に、ふるさとの鹿児島県志布志町では松竹映画「続二等兵物語・南方孤島の巻」（福田晴一 1956）の撮影隊を迎え、町をあげての応援態勢での歓迎。見学ではレフを操作する照明部さんに方言まる出しで語りかけた記憶があります。ちなみに、照明助手の一番の若手が故野田正博さんだったと後日ご本人から聞きました。このロケ現場で照明部の活躍をみたことが動機で、昭和 32 年(1957)大映多摩川撮影所照明部に入社。助手として主に伊藤幸夫に師事し、「夜は嘘つき」（田中重雄 1960）「若い仲間」（島耕二 1961）「黒の試走車」（増村保造 1962）「瘋癲老人日記」（木村恵吾 1962）など多くの作品に参加。昭和 42 年(1967)電通映画社（現電通テック）に移籍、映画スタジオで身に着けた照明技術を駆使して CM 映像の向上に貢献、また短編映画、大型映像（大阪万博、筑波博）などにも挑戦した。主な作品に「日本の庭」（1972）「鎌倉悠久」（1989）「KAMBA! 暴走迷路」（1992）などがある。

平成 6 年 10 月（1994）には韓国映画照明協会と両国友好親善を目的とした合意書調印式をソウル南山の映画振興公社会議室で開催したが、下村会長、久米副会長と共に参加。今年で交流 20 周年を迎えるが、協会の韓国担当。

平成 14 年（2002）からは日本映画テレビ照明協会事務局長として、協会の運営および技術力の向上に尽力している。

平成 17 年（2005）からは東放学園映画専門学校で「照明基礎講座」の講師を務めるなど後進の育成にも尽力している。

昭和 49 年度 ACC 特別賞（照明賞）受賞 マツダルーチェ「夜明け」篇（1974）

平成 3 年度日本映画照明技術者協会 最優秀照明賞受賞

産業記録映画部門 「ポルトガルを色彩る」（1992）



会場で投影された撮影風景写真

平成 26 年度（第 12 回） 文化庁映画賞贈呈式

平成 26 年 10 月 23 日 六本木ヒルズ グランドハイアット東京